

第四回 貴族院取引所法案審査特別委員會速記第二號

明治廿六年二月十九日午前十一時開會

○委員長(川田小一郎君) 夫デハ是ヨリ……

○政府委員(齋藤修一郎君) 昨日ノ御質問ニ對シテ定義ガ少シ間違ッテ居リマス。夫ヲ一ツ正誤ヲシテ置キマス、此衆議院ニ於キマシテ新タニ附ケ加ヘマシテ所ノ第八條即チ取引所ガ倉庫ヲ設置シテ指圖式ノ倉庫證書ヲ發行スルヲ得ト云フ箇條ニ付キマシテ渡邊君カラ御質問ガアリマシタニ對シテ私ガ御答ヲ致シマシタ所ガ段々詮議ヲ致シテ見マス。此所ニ正誤ヲ致シタウ於テ誤リノアルコトヲ發見シマシタノデアリマス。此所ニ正誤ヲ致シタウゴザリマス、即チ此第八條ノ趣意ハ此取引所ノ設置スル所ノ倉庫ハ勿論取引所其物ガ設置致スノデゴザリマシテ即チ取引所附屬ノ倉庫ト云フコトニナリマシテ此倉庫ノ所有者ハ此取引所其物デゴザリマス、故ニ取引所ガ倉庫ヲ設置スル場合ニハ夫丈ケ取引所ノ營業ノ範圍ガ廣マルト云フ譯ニナリマス、其計算ニ於キマシテハ或ハ内部ノ便利ノ方ト倉庫ノ方ト區分スルコトモアリマス。カモ知レマセヌガ均シク取引所ノ責任ニ屬スルコトト思ヒマス、其所デ此元來指圖式ノ倉庫證書ト申スモノハ例ヘバ米何百石ヲ預ツタ故ニ此證書ト引換ニ證書面記載ノ米ヲ引渡スト云フ證書ヲ取引所ノ倉庫ヨリシテ其米ノ荷主預主ニ交附スル所ノ預證書デゴザリマス、シテ其證書ハ預主ガ裏書ヲ致シマス。ト甲ニ轉賣ヲ爲シ、又乙ニ移リ又乙ハ裏書ヲ以テ夫ヲ丙又丁ト段々轉賣買ガ出來ル證書ト云フ意味デゴザリマス、夫デ此證書ハ賣買上雙方ノ爲ニ其約束ノ受渡ノ際ニ當リマシテ一々立會ノ上検査ヲ要セザルト云フ事項デゴザリマス、米其物……實物其物ヲ渡ストシマス。ト一々役人立會ノ上検査ヲシテ其目柄品質等ニ就テ一々手數ヲ要スル検査ヲ致サヌケレバナリマセヌガ此證書ヲ受渡シテ致シマスニ依ッテ、其證書面ニハドウ云フ米ト云フコトガチヤント書イデゴザリマス。カフ毎々必ズ其検査立會等ノ手數ヲ要セズシテカラ至極便利ナ方法ト存ジマス、夫デカラニ是ガ故ニ頗ル此取引所ガ倉庫ヲ持チマス。ルコトハ便利デアリマス。ルノミナラズ必要ナ事業ト考ヘラレマス、然ルニ元來此倉庫ノ營業ト云フモノハ商法第四條第八項ニ商業取引ト認メテアリマス。ル通リ商業社會其物ニ於テ必要ナ事業デゴザリマシテ獨立シテ致シマス。ルコトハ勿論出來マス。ル條デゴザリマス。ルカニ依ッテ或場合ニ於テハ必ズ取引所其物ガ自分ニ倉庫ヲ持タヌトモ他ニ其信用ヲ措クベキ倉庫ト契約ヲシテサウシテ其倉庫ヲ利用スルコトハ勿論出來ルノデゴザリマス、併ナガラ或場合ニ於キマシテ土地商業ノ狀況ニ依ッテ、實際取引所ノ身代如何ニ依リマシテ、自分デ倉庫ヲ持ツト云フコトハ勿論必要ナコトガ生ジテ參ラウト考ヘマス、故ニ現行デ見マシテモ大阪堂島米商會社ハ自分附屬ノ、自分所有ノ倉庫ヲ持ッテ居リマシテ倉庫證書ヲ發行シテ居ル次第デゴザリマス

ガ、東京米商會社ノ如キハ自分ニ倉庫ヲ持マセズニ其東京倉庫會社ト契約シテ此倉庫ヲ利用シテ居リマス、其所デ此株式取引所、株式會社組織ノ取引所ニ於キマシテハ資本金ト云フモノガゴザリマシテ其資本金タルヤ現則ニ於テ勿論倉庫營業ノ爲ニ置イタ所ノ資本金デハゴザリマセヌ、商賣取引ニ對スル三重目ノ擔保ノ職ヲ盡スト云フ資本金デアルノデゴザリマス。ガ故ニ、或ハ其資本金ノ一部ヲ以テ倉庫ノ營業ヲ許スト云フコトハ不都合デハナイ、或ハ又其結果トシテ危險ノ場合ガ生ジハセヌカト云フ疑ヒガアルカモ知レマセヌガ夫ハ決シテサウ云フ事柄デハアリマセズシテ恰モ資本ノ一部分ヲ……三分ノ二ト云フモノハ今日ノ場合デモ營業保證金トシテ政府ニ預ケテ置ク若クハ銀行ニ預ケテ置キマスガ其殘リノ三分ノ一ト云フモノニ就テハ是ハ流動資本トナツテ而シテ土地家屋等ヲ建築スルト云フコトニナツテ居リマス、其土地家屋ヲ建築スルト云フコトハ一ツハ此倉庫ヲ建築スルト云フ其方ニ其資本ヲ向ケルト云フニナツテ來マス。ルコトハ是ハ理論上許スベキ事柄ト考ヘマス、然ルニ尤モ其資本金ノ全部ト云フモノハ場合ニ依ッテハ保證ノ擔保ノ責任ヲ持ッテ居リマス。カフ預ツテ居リマス。ル三分ノ二ハ勿論家屋地所倉庫ハ均シク擔保ノ責任ヲ採ッテ居ッテ夫デ其形ガ變ジ様トモ責任ハ免レヌト云フコトハ勿論當リ前ノ話デゴザリマス、所ガ又一方ニ於キマシテ會員組織ノ取引所ニ於キマシテハ資本ヲ持ッテ據保ノ責任ヲ盡スト云フ責任ハゴザリマセヌケレドモ要スルニ一ノ營業トナツテ、一ノ法人トナツテ財產ヲ所有シ之ヲ處分スル權利ヲ持ッテ居ルニ依ッテ從ッテ事實上カフ土地家屋ト云フ様ナ必要物ヲ持ッテ居リマス、夫デ均シク其倉庫ヲ所有シ或ハ負債ヲ起シ或ハ積立金ヲ持ッテ倉庫ヲ起スト云フコトハ勿論會員組織ノ取引所ト雖モ爲シ得ベキコトハ爲シテ相當ノコトト考ヘラレマス、唯株式組織ノ取引所ト違フ所ハ擔保ノ責任ガアリマセヌカフ資本ヲ政府ニ預ケテ置クコトガ無用デゴザリマス。ガ既ニ其他ニハ一ノ其家屋ヲ所有スル以上ハ夫ト均シク倉庫又ハ土地ヲ所有スルコトハ勿論差違ナイコトト考ヘラレマス、其處デ取引所ガ倉庫ヲ所有スルコトハ商品ヲ夫ニ預カリマシテ其市場ニ賣買取引ガ危險デアルト云フ疑ニ付キマシテハ實際預リマス。ル現物ニ對シマシテ其倉庫ヲ取り手數料ヲ取りマシテサウシテ事業ヲ營ムコトデアアルカラ勿論收入ハアリマス。ガ取引所倉庫ハ其至當ノ結果トシテ其損失ヲ受ケルト云フ様ナ結果ハ出デ參ル理由ガナラバ或ハ不考ヘマス、又一方カラ云ヒマス。ルト若シ自分ガ倉庫ヲ所有シタナラバ或ハ不正ノ空券ヲ發行スル様ナ恐レハナイカト云フ疑ヒガアリマス。ルケレドモ、取引所ノ賣買取引ト申シマス。ルモノハ所謂先キ物ノ賣買デゴザリマシテ現物見本等デナクテモ取引ガ隨意ニ出來ルノデアリマス。カフ取引所ガ空券ヲ出ス必要ハ夫ハナイデアラウト考ヘマス、且ツ又空券ヲ發スルト云フコトハ其空券

ヲ發シテサウシテ自分ニ買取ルコトが出来マスルハ之ヲ發スル恐レハアルカモ知レマセヌガ夫ハ八條ニ於テ第二項ニ於テ買取ルコト云フコトが出来ヌト云フ規定ニナツテ居ル以上ハ轉々賣買シテ往キマサル以上ハ必ズ買フ物ハ是丈ケ米ノ取引ガアツタラ受取ルコト云フ確信スル事由ガナクテハ之ヲ買フコトガナイト云フコトハ自然ノ理デゴザリマス、又他ノ手ニ買ヒ取ツテアルトモ其結果ハ取引所ノ責任デ……其責任ヲ持ツテ居ル以上ハ豫メ夫ヲ知リツ、空券ヲ發スルコト云フ様ナ所謂迂闊ナコトヲシナイコトハ理ノ略易イコト、考ヘマス、故ニ之ヲ結論致シマスル、指圖式ノ倉荷證書ヲ發行スルコトハ頗ル便利ナル方法デアツテ、一方ニ於テハサウナラバ商業上不正若クハ危險ナ原素ニナリハセヌカト云フ憂ヒハ毛頭ナカラウト考ヘマス、殊ニ此條項ハ商法中七箇條デアリマスルガ商法モ未ダ其部分ハ實行ノ期モ先キノ遠イコトデアリマスルガ故ニ、此法案ヲ採用シタ譯デアリマシテ若シ商法ガ實施セラレルコトデアアルナラバ是ハ殆ド採用スル必要ガナイ位ノコトデ衆議院ニ於テ追加ニナリマシタ所デモ商法ト少シモ矛盾嫌モナイノミナラズ又商法ノ行ハレタ曉ニハ此取引所ノ權利義務上ニ於テ之ヲ茲ニ裁可シタニ附テ少シモ異動ハ生シナイ事柄ト考ヘラレマス是丈ノ正誤ヲ致シマス

○委員長(川田小一郎君) 是ハ政府委員へ御尋ネヲ致シマスルガ衆議院ノ修正案ノ通テ政府ハ御承知ニナツテ居ルデアリマスカ

○政府委員(齋藤修一郎君) 政府ハ衆議院ノ修正ニハ唯委員會ニ於テ同意ヲ表シタノデ議場デハ之ヲ表スル之ヲ表セヌト云フ機會ヲ持マセヌノデアリマシタ即チ別段ニ質問モアリマセヌカシ議場デ何等ノ明言ハ致シマセヌガ委員會デハ即チ同意ヲ表シタノデアリマス

○委員長(川田小一郎君) サウスレバ衆議院ノ修正案ヲ原案トシテ宜シウゴザリマスカ

○小室信夫君 左様デゴザリマス

○委員長(川田小一郎君) スルト大體ノ此可否ハ如何ノモノデゴザイマスカ

○男爵小澤武雄君 決テ御採リニナツテ宜シウゴザイマセウ

○委員長(川田小一郎君) 此衆議院ノ提出案ノ通り大體採ルベキモノデゴザリマスガ衆議院ノ修正ノ通り御異存ノナイ御方ハ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○委員長(川田小一郎君) 多數デゴザイマス、サウスルト條ヲ逐フテ行キマスカ

○小室信夫君 左様デ……

取引所法

第一章 取引所ノ設立

第一條 賣買取引ノ繁盛ナル地區内ノ商人ハ政府ノ免許ヲ受ケテ一種若クハ數種ノ物件ノ取引所ヲ設立スルコトヲ得
○男爵小澤武雄君 少シ此第一條ニ於テハ本員ハ修正ヲシタイト云フ考ヲ

持ツテ居リマスノデアリマス、夫ハ昨日モ政府委員ニ質問ヲ致シタノデゴザイマスガ政府ノ免許ヲ受ケ云々ト云フコトハ甚ダ漠然トシテ居ル、又是迄ノ諸法律ニモ餘リ例ヲ見ナイカト考ヘマスカフ之ヲ此政府ト云フコトヲ農商務大臣トカ云フコトニ致シタイ考デアアルノデアリマス、然ルニ昨日政府委員ノ說明ニ據レバ勿論ハ農商務大臣ニ當ル所デアアルケレドモ其前ニ於テ地方官ヲ經由シ或ハ參事會ニ諮問スルナドト云フ様ナ色々ノ手續ガアルニ依ツテ省令デナクツテハナラヌト云フコトデアアツタ様ニ思ヒマスガ若シ此委員會ガ日ニ餘裕モアルコトデアアレバ篤ト御相談ヲ致シテ修正ヲ致シタイと思フケレドモ何分此會ノ日ノ如ク日曜ヲ潰シテ勉強シテモ唯三日間丈デ明日中ニハ報告ヲシナケレバナラヌト云フコトデアアリマスカラ十分ナル修正ヲスルコトハドウシテモ出来ナイと思フ、併シ是ハ議場ニ於テ明日中ニ報告セネバナラヌト云フコトニ決シマシタコトダカラ夫ニ服從セヌコトハ出来マセヌコトダカラ本員ハ修正ノ意見ヲ持ツテ居ルニ拘ラズ原案ニ服從スルヨリ外致方ガナイト思ツテ居ルガ此一箇條ナラ修正ガ出来ルカ知レヌケレドモ又先キニモ修正ヲシタイト云フ考モアルノデアリマスカラ此三日間ニハ速モナシ得アレヌモノト考ヘテ甚ダ遺憾ナガラ見合シテ原案ニ贊成スルヨリ仕方ガナイト考ヘテ居リマス

○小室信夫君 唯今小澤男爵ノ述べラレタ通り本員モ同感デアリマスガ誠ニ至急ヲ要スル本案デアアルニ時日モ切迫スル所デ餘儀ナイコトデアリマスカラ本員モ小澤男爵ニ贊成ヲ致シマス

○小幡篤次郎君 私も此一條ニ附テ少シ修正ヲシタイト云フ考ガアリマスガ其文字ハ物件取引所ヲ設立スルコトヲ得但其物件ノ品類ハ農商務大臣之ヲ定ムト云フ文字ガ這入ツテ居ラヌザハ此種類ヲ種々ナ許スベカラザルモノヲ農商務省デ定メラレナイモノヲ持チ出シテ斯様スル品物ガ土地ニ出テ居リマスカラト云ツテ願フ持ツテ參ルコトモ出来ル、是モマ……却下スレバ苦シクナイモノデアリマスガ併ナガラ何等ノ定メモナイモノデアリマスカラ願出ル者カラハ種々ナ物品ヲ集メテ此土地ニハ幾種類ノ品物ガアツタドノ位ナ格位ニナルカラ取引所ヲ起シタイト云フ様ナ願ガ地方地方ニハ比々起ラウト云フ憂ガ甚ダアルト思フカラ凡ソ物件ノ品類ハ豫メ定メタ方ガ宜カラウト思フ、其物件ノ品類ハ農商務大臣之ヲ定ムト云フ文字ヲ入レタイト思ヒマスガ

是モ先ヘ往テ修正等モゴザイマセヌデ唯此一箇條ニ於テ協議會ヲ開ク様ナ、是ガタメニ議場ノ通過ヲ妨ゲルコトガアルトテ困リマスガ若外ニ修正ガ出マシテドウシテモ修正シナケレバナラヌ様ナコトガアリマスレバ夫丈ノ文字ヲ挿ミタイト考ヘマス

○政府委員(齋藤修一郎君) 小幡君ノ說ニ附テ一應申シタイト考ヘル、元來二十年發布ノ取引所條例ニハサウ云フ様ナ意味ガ幾分カ含デゴザイマスノデ即チ省令ノ第二條「取引所ニ於テ賣買取引スヘキ物件ハ重要ノ商品公債證書證券株式等ニシテ創立員又ハ取引所ノ出願ニ依リ農商務大臣ノ認可シタルモ

ノニ限ル「トゴザリマス、所デ此法案ニハ斯ウ云フ其説法ヲ抜イタノデ農商務大臣ガ認可シタモノニ限ルト云フコトヲ本案ニハ掲テアリマセヌ、要スルニ此取引所條例ノ一、二條ノ様ニ重要ノ商品トカ何トカ書タ所ガ少シモ其目安ガ立タヌノデアリマス、重要ノ商品ト云フモノハ誰ガ重要ト認ムルカト云ヘバ矢張農商務大臣ガ重要ト認ムルノデ其所ニ至ツテドレガ重要デアルカ全國デ五百萬圓以上ノ金高ノ産出ガナカッタ重要ト云ヘヌガ三十萬圓デモ重要ト云フカト云フコトニ附テハ矢張銘々個々デ見ル所ガ違ヒマスカラ要スルニ其歸著スル所ハ當局責任大臣ノ定メラル、所ノモノニ歸著スルヨリ外ハナイノデアリマス、即チ此本案ニハサウ云フクドクドシイコトヲ書ク必要ガナイト云フノデ趣意ダケヲ掲ゲマシタ精神デアリマス、故ニ取引所ニアリマス第一條ニゴザリマス「取引所ハ商業上ノ取引ヲ便利ニシ市價ヲ平準ニシ商業上公正直實ノ風ヲ養成シ商業上ノ慣習ヲ統一維持シ須要ノ報道ヲ傳播シ及取引所會員ノ間ニ生スル爭論ヲ仲裁スルヲ以テ目的トシ商業上便宜必要ノ地方ニ於テ其地方ノ商人農商務大臣ノ特許ヲ得テ設立スルモノトス」ト云フ前置見タ様ナ一向意味ノナイコトガ書テアリマスノデアリマス、所ガ斯ク書キマスルト是シカナイカト云フト未ダ取引所ノスベキコトハ外ニモアルノデ、仲々スッパリ書テシマウコトハ出来モセヌ又半分書ケバ意味ノナイ條項ニナリマスカラ是等ノモノハ省クベシト云フ考ヘカラ矢張斯ウ云フモノハ本案ニハ書イデアリマセヌノデ、唯今小幡君ノ説モゴザイマシタガ到頭必要ノナイ事柄デハナイカト考ヘル

○小幡篤次郎君 唯今ノ辯駁デゴザイマシタガ此物件ノコトニ附テハ何處ニ制限ガ付キマスカ今一應……

○政府委員(齋藤修一郎君) 御答致シマスガ其制限ト申スモノハ第一條ニ賣買取引ノ繁盛ト云フコトヲ撰ヘルモノデゴザイマシテ昨日モ段々陳辯致シマシタ通り全國ノ商況ヲ觀察シ且諸所商業地ノ商況ヲ觀察致シマシテ要スルニ此場所ニ於テ此品物ノ取引ハ繁盛デアアルヤ否ヤ又此場所デハ繁盛デアアルガ第二ノ乙ノ場所ニ於テハ繁盛デアアルヤ否ヤト云フコトヲ觀察シマシタナラバ第一ノ場所ニ於テハ其物件ノ取引ノ賣買高ガ百五十萬圓アルカラ是ハ繁盛ト認ムベシ第二ノ地ニ於テハ十五萬圓シカナイカラ是ハ繁盛ト認ムベカラス從ツテ第一ノ場合ニハ其物件ノ賣買取引所ノ設立ヲ許可スルガ第二ノ場所ニハ許可シナイト云フ斯ウ云ウ結果ニナルト考ヘマス

○委員長(川田小一郎君) ドウシマセウ今小澤君カラ修正ヲシタイツレトモ急ヲ要スルニ依テ遺憾ナガラ原案ニ同意スルト斯ウ云フコトデアリマシタガ矢張り原案ニ依テ多數ニ諾フベキモノデゴザイマセウカ

○男爵小澤武雄君 原案デ宜シウゴザイマス

○委員長(川田小一郎君) 原案ヲ可トスル御方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○委員長(川田小一郎君) 過半数デゴザイマス

貴族院取引所法案審査特別委員會速記録

明治二十六年二月十九日

第二條 同種ノ物件ヲ賣買取引スル取引所ハ一地區一箇所ニ限リ設立スルコトヲ得但シ其ノ地區ハ農商務大臣之ヲ定ム

○小室信夫君 此條モ前條ト同ジク若シ時日ガアツテ修正ガ出来ベキモノナラバ此一地區ト云フ文字ハ昨日モ説明ヲ伺ヒマシタケレドモドウモ不穩當ノ様ニ思ヒマス、是ハドウモ矢張モウ少シハツキリ一市街トカ何トカゴザイマシタ方ガ宜クハナイカト思ヒマス、此一地區ト云フ區ノ境界ハ農商務大臣ノ烟眼ニ依テ御定メニナルカ知レマセヌガ大變ニドウモ疑團ノ起ルコトデアラウト思ヒマスカラ前項ト同ジク誠ニ日數モ差迫ツテ居リマス且ツ修正案ニ付テ又協議會ヲ開クト云フヤウナ始末ニ至リマスドウモ本會期ニ於テ是ガトウトウ成立タナイ様ナ結果ヲ見マシテモ相成リマセヌカラ已ムヲ得ズ本案ニ賛成ヲ致シマスルガ若シ何カ議場デ修正案ノ出マス様ナ都合デアリマスカラバ此一地區ト云フ字ハ少シハツキリシマシタ字ニ修正ヲ致シタイト云フ考ヘフ持ツテ居リマスガ前項ト同斷ノ事情デゴザイマスカラ本案ニ賛成致シマス

○菊池武夫君 先刻カラ段々修正ノ御希望ハアルケレドモ此案ガ本會期ニ於テ法律トナル方ガ宜イカラ其考ヘテ主張セヌト云フ御説モアリマスケレドモ委員會ガ此本案ヲ付託セラレマシタ以上ハ修正スベキモノガアルナラバドウモ修正ヲセンケレバナラヌダラウト思ヒマス、報告ヲ致シマシタ上ニ斯様ナ不都合ハアルケレドモ併シ會期ガ迫ツテ居ルカラシナダト云フコトハ申譯ケニナルマイト考ヘマス、果シテ至急ヲ要スルト云フ事情ガ私ナドハ昨日缺席ヲ致シマシタカラ其當時ノ御話ハ知リマセヌケレドモ何ゾ本會期ニ於テ是非之ヲ法律ニセネバナラヌト云フ理由ガ外ニアツテ存シマスル以上ハ宜シウゴザイマセウケレドモ唯偶々此法律案ガ尙委員會ニ付セラレタノハ會期ノ仕舞ヒデアアルカラ直スベキ所ガアツテモ直サヌト云フノデハ此儘ニ原案ヲ通スト云フ理由ニハナルマイト考ヘルノデアリマスカラシテ兎モ角モソウ云フ希望ヲ懷カル諸君ニ於カレマシテハ十分此案ヲ提出ナサレテ討議ヲ盡サレタ方ガ宜カラウト思フ、若シ果シテ強テ主張ナサヌト云フコトデアリマスナラバ其方ミノ仰セラル、通り會期モ迫ツテ居ルコトデアルカラ別ニ唯希望ダケヲ御述ベニナルコトダケナラバ御止メニナツテ直グニ原案ニ付テ決ヲ取ラル、方ガ拂取ツテ宜カラウト思ヒマス、是ハ強テ私ガ説ヲ出スト云フ譯デアアリマセヌガ其邊ハ委員長カラ御注意ニナツテ然ルベキコトカト考ヘマス

○渡邊甚吉君 私モ菊池君ト至極御同感デアツテ議場ニ報告シマスル時分ニ是ハ大變不都合デアアルカラ修正ヲシタイケレドモ已ムヲ得ズ此儘ニシテ出スト云フコトニナリマシテハ委員始メ非常ニ此法案ノ不都合ナルヲ認メテ居ルト云フコトヲ殊更議場ニ報告スルヤウナモノデ却テ議場一體ノ議論ヲ惹起ス種子ニナラウカト考ヘマス、若シモ果シテ修正ヲセネバナラヌト云フ考ヘナラバ寧ろ修正ヲ斷然シタ方ガ宜カラウト考ヘマス、又其御發言ニナツタ諸君

ノ御考ヘニモ之ヲ弄ブツタナラバ却テ本會期ニ成立ツマイカラ残念ナガラ已ムヲ得ズ修正ノ意見ヲ持ツテ居ルガ之ヲ出サズニ置クト云フコトデアルナラバ寧ロ其コトハ御發言ニナラズ唯御起立ニナラムコトヲ希望致シマス、本員ハ此第二條ノ一地區ノ云フノハモウ是ヨリ外ニ書キ様ガナイト徹頭徹尾考ヘマス、若シ之ヲ一市街ナドト致シマスト大變不都合ヲ生ジマス其市街ノ近傍ニモ又市街ガ接續シテ居ラヌトモ限リマセヌ、サウ致シマスルト一方ハ商業ノ關係カラ其一地區域デアリナガラ少シク市街ノ切斷シテ居ル爲ニ其所ニモ又許サナケレバナラヌト云フコトニナル、許サナイト云フコトデナクトモ其出願ヲシナケレバナラヌト云フコトニナル、大變繁雜ヲ來スコトニナル此一地區ト云フコトハ逆モ是レヨリ外ニ書キ様ガナイト考ヘマス、其外第一條ノコトモ豫メ農商務大臣ガ定メルコトハ宜クナイ、一條ニ於テ免許ヲ受ケテアルカラ其通りデ宜カラウ總テ私ハ此通りデ宜カラウト考ヘマス

○男爵小澤武雄君 唯今菊池君渡邊君カラ御説ガ出マシテ意見ガアルナラバ其修正ノコトヲ出シタラ宜シイ、夫デナケレバ言ハナイガ宜シイ、サウセネバ議場デ委員會ニ色々異論ガアツテ議場ニ現ハレタモノダト云フコトヲ示スト云フコトデアリマシタガ是ハ私ハ困ツタ御注文ヂヤト考ヘマス、此二條ノコトニ付テハ發言ヲセナカツタデアリマスガ一條ノコトニ付テ申シタ、夫ハ修正ヲシタイノデアルケレドモ先刻モ申ス通り委員會ノ日ト云フモノノ限ラレテ居ルカラ一條ダケデ濟メバ宜イガ申シテ見レバ外ニモ段ミアルカラドウシテモ間ガナイト云フコトヲ申シタデアツタ、併ナガラ是ハドウシテモ行ケナイト考ヘレバ無論日限ノアルナシニ拘ラズ修正説ヲ出スノデ斯ウ云フ考ヘハアルガ比較的ニ考ヘテ見ルト先ヅ原案ノ通りデモ宜カラウカト思ウニ依テ賛成スベキモノハ賛成シテ置クノ議場ニ現ハレタ所デドウデアラウカト云フコトヲ懸念シテ委員會ニ於テ自分ノ考ヘフ言ハナイト云フコトハ毛頭出來ナイコトデ、又此議事ノ抄取りノ爲メダカラト云フテ自分ノ意思ヲ述ベルコトガ出來ナイト云フコトハ決シテナイコトデアラウト考ヘマスカラ今ノ御説ハドウゾ御取消ニナリタイト考ヘマス

○菊池武夫君 私ノ申シマシタノハ段々修正ヲスルト云フ御意見デアレバ幾ラ其理由ヲ御述ベニナリマシタ所ガ固ヨリ差支ナイコトデアリマスケレドモ到底原案デ宜シイト云フコトデアリマスルナラバ即チ僅ノ時間ニ之ヲ修正セシニヤナラヌ場合ニ至ツテ居リマスルモノデアリマスカラシテ成ルベク此議事ノ抄取りヲ謀ル方ガ宜シカラウト云フ私ノ考ヘデアアルノ議場ニ於キマシテ夫ガ論ノ種ネニナルトカナラヌト云フ方ノ考ヘハナイ、唯偏ニ諸君モ御考ヘニナツテ居ル所ノ速ニ之ヲ議了センケレバナラヌト云フ結果ヲ出スニ付テ其方ガ都合ガ宜カラウト斯ウ考ヘルダケノコトデアリマス

○委員長(川田小一郎君) 本案ニ付テ外ニ何モ御辯論モアリマセメケレバ決ヲ採リマス、原案ニ御賛成ノ方ハ起立ヲ……
起立者 多數

○委員長(川田小一郎君) 過半数、第三條 取引所ノ免許年限ハ十箇年トス但シ土地商業ノ情況ニ依リ更ニ繼續ノ出願ヲ爲スコトヲ得

○木下廣次君 チヨツト政府委員ニ御尋ネシマス、原案ニ七箇年トアル此七

ト云フノハ何カ理由ガアツテ出タモノデアリマスカ

○政府委員(齋藤修二郎君) 是ハ昨日モ御尋ネガゴザイマシテ陳述致シテ置

キマシタガ申上ゲテモ宜シウゴザイマス

○木下廣次君 ドウカチヨツト……

○政府委員(齋藤修二郎君) 是ハ七ト云フコトニ付キマシテハ必ズ七デナケ

レバナラヌト云フ理ハゴザイマセヌノデアリマシタ唯詰ル所其賣買取引ノ

繁盛ナル地區内ニ立ツベキモノデアリマスカラ是非今日商業ノ有様ヲ目撃シ

テ見マスルト桑名四日市ノ如ク米ノ集ル所ハ舊來ハ桑名デアツタノガ今日ハ

四日市ガ特別輸出港ニナリ、鐵道ノ連絡其他ノ道ニ依ツテ却ツテ大變繁盛ナ

ル位置ニナツタト云フ事實モゴザイマス、是カラ先此封建割據ノ有様ガ段々

ナクナリマシテ商業モ發達シテ見マスレバ運輸交通ノ便ノ開ケル結果トシマ

シテカラニ隨分今マデ區々タル場所ガ繁盛ノ地ニナリ今マデ隨分繁盛ノ地ガ

衰頹スルト云フコトハ必ズ期スベキコト、考ヘルノデ故ニ何カノ期限ヲ立

テ、置クコトハ必要デアルト云フコトヲ其第一ニ斷定致シマシタ、然ル所デ

七年トスルカ五年トスルカ十年ニスルカト云フ點ニ對シマシテハ從來ノモノ

ハ五年デアリマス、現行ノモノハ……五年デハ少シ頻繁ニ過ギル十年デハ或

ハ少シ長過ギハシナイカト云フ考カラシテ七年ト原案ニハアリマスノデアリ

マスガ要スルニ衆議院ノ十年ト云フコトニ政府ガ同意致シマシタノハ夫等ノ

理由デ十年ト云フコトデモ強テ差支ハアルマイト云フコトデ十年ト云フコト

ニ同意シタ譯デアリマス

○木下廣次君 實業家トシテ渡邊サンニ御尋ネ申シマスガ今度ノ公設ノ取引

所法案、此法案ガ果シテ完全無缺デアツテ永代ニ少シモ差支ヘモ無カラウト

云フコトハ云ヒ得ナイ譯デゴザイマセウガ多少當時ノ勢ニ於テ、當時ノ情況

ニ照シテ格別ニ不都合モナシ又多少ノ利益モアルト云フ譯デゴザイマセウカ

實業社會ニ於キマシタ或ハ今日ノ所デハ此法案ハ結構ダト云ヒマシテモ不時

ニ不都合ノ起ル様ナコトモゴザイマス、取引所ニデモ接シテ居ル人ノ考デ此

年限ノ十箇年トアルノハ親切ニ考ヘテ見マスルト中途ニシテ此法案ト云フモ

ノガ變革ヲ促シハシマイカト云フ恐レハゴザイマスマイカ

○渡邊治右衛門君 夫ハ唯今ノ齋藤サンノ御述ベニナツタノガ是レマデノ年

限トナツテ居リマスガ夫デ實業者ハモツト年限ヲ延シタイノデアリマスケレ

ドモサウモ往キマスマイカラ詰ル所十年デ差向イタ所デハ已ムヲ得マスマ

イ、差支モゴザイマス

○委員長(川田小一郎君) 別ニ御修正説モゴザイマセネバ本案ヲ可トスル御

方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○委員長(川田小一郎君) 過半数デゴザイマス

第四條 株式會社組織ノ取引所ハ營業保證金ヲ政府ニ納ムヘシ

○木下廣次君 舊條例ニ依リマスルト此營業保證金ト云フノハ條例ヲ以テ其金高ヲ定メテゴザイマシタガ本案ニ依リマスルト此保證金ト云フノハ別ニ定メモナイ様デゴザイマスガ政府委員ニ御導致シマス

○政府委員(齋藤修一郎君) 夫ハ三十四條ニ於キマシテ勅令ヲ以テ定メル様ニナツテアリマス、夫デ今日ノ目下ノ考ハ矢張り銀行ノ習慣規程ヲ追ヒマシテ資本金ノ三分ノ一ヲ政府ヘ預ル積リデアリマスガ要スルニ此ニユトリヲ取ツテ置キマス所以ト云フモノハ先ヅ此會社社會社ニ依リマシテ信用ニ甲乙ノアルコトハ免レマセヌ、場合ニ依ルト云フト三分ノ二ト云ハズニ四分ノ三トカモツト額ヲ高クスル必要モ生ジテ參ラウカト思ヒマス、又場合ニ依リマスト云フト隨分三分ノ二ヨリモ倉庫デモ設置シマスト云フ様ナコトニナリマスト云フト少シ此資本ノ額ノ多イコトノ必要モ或ハ感ズルカモ知レマセヌガ勿論其度々毎ニ之ヲ變更スルト云フ意味ハナイノデ、勅令ヲ以テ額ヲ規定スル積リデアリマスガ其額ヲ法律夫々ノ手續ヲ經ナクテハナラヌ法律ヲ以テ規定シテ置クト云フコトハ頗ル場合ニ依ッテハ困難ヲ感ジハセヌカト云フ考モアルノデ故ニ法律ニ於テ明ニ勅令ニ讓ルト云フコトニ致シテアル、夫カラモウ一應御參考ノ爲ニ申上テテ置キマスガ從來ハ政府若クハ國立銀行ト云フコトニナツテ居リマス、所ガ會社ニ向ッテハ命令ヲナヤントヤッテ之ヲ使用スベカラズト云フコトニナツテ居リマス、所ガ銀行其者ニ向ッテハ何ニモ制裁ガナイ、銀行ハ矢張り當リ前ノ預タ金同様ニシテアリマスカラ會社ガ行ッテ取出サウト云フ時ニハ夫レヲ渡シマスデゴザイマス其結果タルヤ遂ニ一昨年ノ蟻蝨町デ六萬何千圓モ當事者ガ消費シテ仕舞ッタト云フ様ナ結果ヲ來シマシタノデゴザイマス、之ヲ確實ニスルニハ銀行ト云フテモ其銀行ト云フモノガ計算上ニ於テ確實デアアルヤ否ヤト云フコトモ計リ難イコトデアリマス、此擔保ノ責任ヲ持ッテ居ル貴重ナルモノデアリマス故ニ寧ロ政府ガ之ヲ保管シタガ安全デアラウト云フコトニシテ此度ハ政府丈ケニ致シデアアル

○木下廣次君 サウスルトマダ勅令ニ付テドウ御評議ニナルカ知リマセヌガ此保證金ノ土臺ト云フモノハ舊慣例ヲ追フテ往カウト云フ御考デアリマスカ

○政府委員(齋藤修一郎君) 左様

○委員長(川田小一郎君) 別ニ御異論ガゴザイマセネバ決ヲ採リマス原案ヲ可トスル御方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○委員長(川田小一郎君) 過半数デゴザイマス

第二章 取引所ノ組織

第五條 取引所ハ土地商業ノ情況及賣買取引スベキ物件ノ種類ニ由リ會員組織又ハ株式會社組織ト爲スコトヲ得

○委員長(川田小一郎君) 原案ヲ可トスル御方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○委員長(川田小一郎君) 過半数デゴザイマス、今度ハ六條七條八條九條ト一緒ニ致シテアリマス

第六條 會員組織ノ取引所ニ於テハ其ノ取引所ノ仲買人及會員ニ限り賣買取引ヲ爲スコトヲ得

株式會社組織ノ取引所ニ於テハ其ノ取引所ノ仲買人ニ限り賣買取引ヲ爲スコトヲ得

第七條 取引所ハ法人トシテ財産ヲ所有シ及之ヲ處分スルコトヲ得

取引所ノ責任ハ其ノ財産ニ限ルモノトス

第八條 取引所ハ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ營業部類ニ屬スル商品ノ倉庫ヲ設置シ及指圖式ノ倉荷證書ヲ發行スルコトヲ得

取引所ハ其ノ倉荷證書ニ對シ前貸ヲ爲シ又ハ買受クルコトヲ得ス

第九條 取引所ノ定款ハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

○委員長(川田小一郎君) 夫デヤ此六條ヨリ九條マデハ別ニ御説モ出ヌ様デゴザリマスカラ原案ヲ可トスル御方ハ御起立ヲ請ヒタウゴザリマス

起立者 多數

午後零時十分休憩

午後零時四十五分開會

○委員長(川田小一郎君) 始メマセウカ、第三章

○木下廣次君 チョット是ハ如何デセウカ今迄三條ゾツ御ヤリニナリマシタガ一章ゾツ……

○委員長(川田小一郎君) 一章イキマセウカサウスルト第十五條マデガ三章

○小幡篤次郎君 チョット政府委員ニ伺ヒマスガ此五百圓以內ノ過怠金ヲ課スト云フコトガアリマスガ是マデ過怠金ヲ課シマシタコトガドレ位アリマス

○政府委員(齋藤修一郎君) 是マデハ大抵定款デ二百圓以內ト云フコトニナツテ居リマシタ、實ハ十分其額ヲ高メマシタ理由ハ成ルベク十分ニ取引所ヲ整理シテ行ッテ尙一層秩序ヲ保持スルコトヲ從來ノ經驗ニ依ッテ皆從來設立ノ者ハ希望スルノデ、夫デ隨分場合ニ依ルト百圓位ダト打捨テ、其金額ニ拘ハラズ不正ナ所行ガアツメリ何カスルコトガ多ゴザンス、尙制裁ノ上ニモ制裁ヲ一層高メテ置イテ益々内輪ノ改良秩序ヲ圖ルト云フ精神カラ是ハ商業會議所會員ヲ集メマシタ諮問會デ是非斯ウシタイト云フコトモアリマシタカラ三百圓高メタノデアリマス

○小幡篤次郎君 是マデ二百圓以內ニナツテ居リマシタ時ニ過怠金ヲ納メサ

セタ例ガアリマスカ

○政府委員(齋藤修一郎君) 只今ドレドレト云フ箇條ヲ舉ゲテ御答致ス譯ニハ行キマセヌガ随分アルコトデ且此除名ナドト云フコトモ間ミアルコトデス、取引所ガ自治體トシテ其秩序ヲ保持シテ行クニハ是丈ケノ役員ノ職權ニ制裁ヲ付ケテヤリマセヌケレバ逆モ秩序ヲ保持スルコトハ出來ヌト言ハザルヲ得ヌ

○委員長(川田小一郎君) 別ニ恩召モ無イ様デスカラ決ヲ採リマス、第三章十條カラ十五條ニ至ル迄ノ原案ヲ可トスル御方ハ起立

起立者 多數

○委員長(川田小一郎君) 過半数デゴザイマス、第四章

第四章 取引所ノ役員

第十六條 取引所ノ役員ハ定款ノ規定ニ依リ會員又ハ株主中ヨリ二箇年以内ノ任期ヲ以テ之ヲ選舉シ政府ノ認可ヲ受クヘシ

取引所ノ役員左ノ如シ

理事長 一人

理事 二人以上

監査役 若干人

理事長及理事ハ會員ニ非サル者ヲ選舉スルモ妨ケナシ

第十一條 第三項ニ該當スル者ハ取引所ノ役員ト爲スコトヲ得ス

第十七條 取引所ノ役員及雇人ハ其ノ取引所ニ於テ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス但シ監査役ハ此ノ限ニアラス

○政府委員(齋藤修一郎君) 此所ニ一ツ申上ゲテ置クコトガゴザイマスガ此理事長及理事ハ會員デナイ者カラデモ選舉スルコトモ妨ゲナシト云フ取除ケヲ致シテ置キマシタノハ株式組織ノ取引所ニ於テハ勿論商法ナドノ規定ニ準ジテ株主中カラ役員ヲ選舉スルハ勿論ノコトデアラウト思ヒマスガ、會員組織ノ取引所ニ於テハ矢張會員デナケレバナラヌト云フコトニ致シテ置キマシルト云フト此第十條ノ第一項ニ依リマシテ一箇年以上其營業部類ニ屬スル營業ニシテ居ラヌケレバ會員ニハナレマセヌ、株主ニハ株ヲ一株ナリ十株ナリ株サヘ買ヘバナレマスガ會員ニハ一ヶ年以上其商賈ヲシタ者デナケレバナレマセヌ、然ルニ此所ニ取引所ガ有ッテ其取引所ノ輿論トシテ愛ニ一ノ人ガ有ッテ其人ノ信用、見識、才能熟練ト言ヒ立派ニ此取引所ノ事務ヲ整理シテ行カレル人物デアッテ理事長ニモ選舉シタイト云フ場合ガ有ル、然ルニ其人タルヤ其取引所ノ營業部類ノ商賈ヲシタコトノナイ立派ナル紳士デアル、奈何セシ會員ニナル資格ガ無イカラ舉ケラレヌト云フコトニナルト取引所ノ爲ニモ經濟社會ノ爲ニモ取ラサル所デアリマス、故ニ此取除ケヲシタ譯デ、喩ヘテ見ルト川田小一郎君ヲ東京ノ會員組織ノ綿取引所ノ者ガ是非理事長ニ戴キタイト云フコトニナレバ直ニ理事長ニ戴クコトガ出來ルト云フ便法ヲ開イタ丈ケノコトデアリマス

○委員長(川田小一郎君) 第四章、十六條及十七條、原案ヲ可トスル方ハ御起立ヲナスッテ下サイ

起立者 多數

○委員長(川田小一郎君) 過半数デゴザイマス、第五章

第五章 取引所ノ賣買取引

第十八條 取引所ノ賣買取引ハ直取引、延取引及定期取引ノ三種トス

第十九條 取引所ノ賣買取引ノ方法ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 取引所ハ其ノ定款ニ依リ賣買取引ニ付證據金ヲ納メシムルコトヲ得

第二十一條 取引所ハ賣買取引ノ責任ヲ履行セサル者アルトキハ其證據金及身元保證金ヲ以テ損害賠償ノ用ニ供スルコトヲ得

第二十二條 株式會社組織ノ取引所ハ賣買取引所ノ違約ヨリ生スル損害ニ付賠償ノ責任ニ任スヘシ

前項ノ場合ニ於テ取引所ハ其ノ賠償シタル金額及之ニ關スル諸費ノ追償ヲ其ノ違約者ニ要求スルコトヲ得

第二十三條 取引所ハ賣買取引高ニ應シ賣買雙方ヨリ手数料ヲ徴收スルコトヲ得其ノ率ハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第二十四條 取引所ハ證據金及身元保證金ニ付他ノ債主ニ對シ優先權ヲ有ス

第二十五條 取引所外ニ於テ取引所ノ定期取引ト同一又ハ類似ノ方法ヲ以テ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス

第二十六條 取引所ニ於テ賣買取引シタル物件ノ相場ハ公定相場トス

○委員長(川田小一郎君) 別ニ御異存ハゴザイマセヌカ、……第五章第十八條ヨリ第二十六條マデ原案ヲ可トスル御方ハ御起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○委員長(川田小一郎君) 過半数デゴザイマス、第六章

第六章 取引所ノ監督

第二十七條 農商務大臣ハ取引所ノ行為法律命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ公衆ノ安寧ニ妨害アリト認ムルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 取引所ノ解散

二 取引所ノ停止

三 取引所ノ一部ノ停止若ハ禁止

四 役員ノ解職

五 會員又ハ仲買人ノ營業停止若ハ除名

第二十八條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ官吏ヲシテ取引所ノ業務帳簿、財產其ノ他一切ノ物件及會員又ハ仲買人ノ帳簿ヲ検査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ取引所ノ役員會員及仲買人ハ其ノ物件ヲ提供シ質問ニ應答スヘシ

第二十九條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ取引所ノ定款ヲ改正セシメ

又ハ其ノ決議及處分ヲ停止シ、禁止シ若ハ取消スコトヲ得

第三十條 取引所任意ノ解散ハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

○委員長(川田小一郎君) 別ニ御發議ハゴザイマセヌカ

○木下廣次君 第二十七條ノ第三ニ取引所一部ノ停止若ハ禁止ト云フコトガ

ゴザイマス、其禁止ト云フハ解散ノコト、ハ違フノデスナ

○政府委員(齋藤修一郎君) 取引所ノ解散ト云フモノハ全體ノ解散デアツテ

一部ト言ヒマスルト此二種以上ノ物件ヲ一ツニシテ一ツノ取引所ヲ立テマス

ルトキニ、其時ニ第一部米穀部、第二部有價證券部、第三部油部ト云フ様ニ

分レテ參リマス、其一部ヲケテ申シタノデ即チ取引所ノ解散ト取引所一部ノ

禁止トハ同シ様ナ結果ニハナリマスルガ解散トハ違ヒマス

○男爵小澤武雄君 此第二十七條第二十八條ニハ農商務大臣トアルノデス

ガ、丁度前ニアツタ政府ト云フノト殆ト同シ主意ナ所デアラウト思ハレルノ

デスガ前ニハ政府トアリ此所ニハ農商務大臣ト殊更ニナツテ居ル理由ヲ政府

委員ノ説明ヲ煩ハシマス

○政府委員(齋藤修一郎君) 是レハ別ニ此ニ故ラニ農商務大臣ト出シ前ニハ

政府ト掲ゲマシタニ付テハ別段理由ハゴザイマセヌノデゴザイマス、唯此第

六章ノ所ニナリマスルト云フト却ツテ其人ノ指シテ置キマセヌト云フト

隨分見解上疑ガ生ジハセヌカ、却ツテ政府ノ一部分ノ管理者ガ……譬ヘテ見

ルト地方長官ノ如キモノハ現ニ此……其理由ハ尙ホ此從來ノ慣習今日ノ規定

ヲ見マスルト明ニナラウト思ヒマスルノハ地方長官ニ帳簿検査ノ權利ガア

ルノデゴザイマス、所ガ夫レタルヤ隨分此今日ハ經濟問題ニ付キマシテハ頗

ル其影響モ不思議ナ所ニ參リマスル事柄ニモナツテ參リマスルシ、寧ロ地方

長官ガ獨立シテ帳簿検査ノ監督權ヲ持タセマシテ必要ガアレバ農商務大臣ノ

委任ニ依ツテスルト云フ方ガ却ツテ取引所ヲ保護スルニハ安全デアラウト云

フ考カラシテ此度ノ法案ニハ農商務大臣バカリニシタノデゴザイマス、夫レ

等ノ理由モアリマスカラ其人其物ヲ明ニ指シタト云フノガ理由デゴザイマス

○菊池武夫君 此第二十八條ニ付テチヨット……物件帳簿ヲ検査セシムルト

アツテ仕舞ヒノ方ニハ物件丈ケヲ提供シテ質問ニ答ヘヨト云フコトデアツテ

帳簿ノコトハナイノデスガ是レハ矢張り這入ル政府ノ積リナンデスカ

○政府委員(齋藤修一郎君) サウデゴザイマス、是レハ前段ニハ取引所ノ業

務帳簿財產其他一切ノ物件トアル、此物件ト云フ意味ニハ矢張り帳簿財產ト

云フモノモ物件ト見テアル、此後段ニ至テハ繰返ス必要ガナイト云フ丈ケノ

意味ヲ勿論含シテアルコトハ言フマデモナイコトダラウト思ヒマス、……夫

レデ要シマルニ此第六章ノ監督權ハ其行政監督ノ理論カラ致シマシテモ是レ

丈ケノコトガ無カッタラ行政監督ガ届カヌト云フコトハ諸君ニ於テモ十分御

認メニナラウト思ヒマスルシ、第二ニハ從來ノ今日現行法ノ監督ニ過ギヌノ

デゴザイマス、唯第二十七條ノ如キハ取引所條例ノ第六條ニアリマスルノヲ

一二三四ト名ヲ明瞭ニ書換ヘマシタニ止マルノデゴザイマス、即チ第六條ニ

ハ「農商務大臣ハ取引所ヲ監督シ地方長官ヲシテ之ヲ監視セシメ其賣買取引

法律命令ニ違反シ或ハ公衆ノ安寧ニ妨害アリト認ムルトキハ其全部又ハ幾部

ヲ停止若クハ禁止シ其賣買取引ニ關涉シタル役員ヲ罷免シ仲買人ノ營業ヲ停

止若クハ禁止シ及會員ヲ一時若クハ永久ニ除名スルコトヲ得」ト斯ウアリマ

スル

○委員長(川田小一郎君) 別ニ御發議モゴザイマセネバ決ヲ採リマス、第六

章第二十七條ヨリ第三十條マデ原案ヲ可トスル御方ハ御起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○委員長(川田小一郎君) 過半数デゴザイマス、第七章

第七章 罰則

第三十一條 第十二條第一項及第十七條ノ規定ニ違背シタル者ハ二十圓以

上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條 第二十五條ニ違背シタル者及公定相場ヲ偽リタル者ハ五十圓

以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

○委員長(川田小一郎君) 別ニ御發議モナイ様デゴザイマス、第七章第三十

一條ヨリ第三十二條マデ原案ヲ可トスル御方ノ御起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○委員長(川田小一郎君) 過半数デゴザイマス、附則

附則

第三十三條 取引所ノ稅則ハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 取引所ノ資本金、營業保證金、株式、手数料及積立金ニ關ス

ル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十五條 本法ハ明治二十六年十月一日ヨリ施行ス

明治九年布告第五百號米商會所條例、明治十一年布告第八號株式取引所

條例、明治二十年勅令第十一號取引所條例、明治十二年布告第二十一號、

明治十五年布告第四十六號、明治十六年布告第四號及同年布告第二十九

號ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

第三十六條 本法發布以前ヨリ營業スル米商會所、株式取引所及取引所ハ本

法ニ依リ更ニ免許ヲ受ケ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得但シ本法施行ノ日

ヨリ二箇月以前ニ於テ出願ノ手續ヲ爲サハルモノハ此限ニアラス

○委員長(川田小一郎君) 別ニ御異見ガゴザリマセヌナラ原案ヲ可トスル御

方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○委員長(川田小一郎君) 過半数デゴザイマス、サウスルト先ヅ是レデ……

ドウ致シマスカ

○渡邊治右衛門君 是レデ二次會ハ畢タノダガ總體議ハ……

○小室信夫君 明日ニナサツデハ……
○男爵小澤武雄君 私ハ其方ガ賛成
○委員長(川田小一郎君) 夫ナラ今日ハ是レギリ
午後一時三十一分散會